

ひょうごの主な城

地域創生・ツーリズム研究所 資料dt06cas.pdf

100 = 日本100名城・ひょうご100城

100 = 続日本100名城・ひょうご100城

100 = ひょうご100城

国 = 国指定・特別史跡

国 = 国指定史跡

県 = 県指定史跡

市 = 市指定史跡（指定文化財）

町 = 町指定史跡（指定文化財）

神戸

名称	名城	史跡	所在地	築城年代・解説など
摩耶山城	100		神戸市灘区摩耶山	南北朝時代（14世紀後半）、赤松円心により摩耶山のお寺に築城。堅堀などが残る。
兵庫城 	100		神戸市兵庫区切戸町	1581年（天正9）、池田恒興により築城。 花隈城落城のあと、残された資材を使って築城された。最近の発掘調査で、石垣、堀などが判明。明治維新時に初代県庁がおかれたが現在は市街地。
和田岬砲台 	100	国	神戸市兵庫区和田岬町	三菱重工業（株）神戸造船所内。1864年（元治1）、江戸幕府が築台。 外国の艦船（黒船など）の来航に伴う沿岸警備のため、1864年建造。高さに11.5m、直径15m。1階には弾薬庫や砲身冷却用井戸、2階11門と屋上16門の砲門（実際には装備されなかった）。砲台周囲に、東西約60m、南北約71mの星型上塁が築かれていた。 工事中、勝海舟が案内して将軍徳川家茂（14代）や公家たちが見学、また神戸海軍塾長だった阪本龍馬も訪れた。国史跡に県下第1号指定（1921年）。
舞子砲台 	100	国	神戸市垂水区舞子町	1864年（元治1）、江戸幕府（明石藩）が築台。 JR舞子駅南の舞子公園、明石海峡大橋の橋脚の袂に残る。幕府の命令により明石藩が設置。2005年に近くのマンション建設に先立って発掘調査が行われ、初めてその全容を現した。当時、神戸海軍操練所の明石藩士らも手伝い、塾長の阪本龍馬も見学に来た。
湯山館	100		神戸市北区有馬町	極楽寺境内。1594年（文禄3）、豊臣秀吉により築城。
淡河城	100		神戸市北区淡河町淡河	元町上山。鎌倉～南北朝時代（14世紀前半）に地元の淡河氏が築城。

名 称	名城	史跡	所在地	築城年代・解説など
滝山城 	100		神戸市中央区城山	1333年（元弘3）までに築城された。布引貯水池南の山。 その後1556年三好長慶の臣で松永弾正久秀が観世太夫の猿楽を催し千の句を詠んだ。1568年織田信長の手へ帰す。布引の滝への登り口から頂上へ積石の跡が城跡である。
花隈城 	100		神戸市中央区花隈町	1568年（永禄11）、和田惟正が築城。天守ほか堀もあり、近世城郭の形態を完備していたが、反抗して1580年信長に滅ぼされる。落城後、この城の材料の一部を兵庫城や大阪城へと転用された。第二次大戦後荒廃していたが、城跡公園と整備された。
端谷城	100	市	神戸市西区櫛谷町寺谷	室町時代、衣笠範景が築城か？ 天正年間に、羽柴秀吉により三木城の支城として攻められ落城、その後廃城となった。曲輪などが残る。
枝吉城 	100		神戸市西区枝吉	室町時代中期（15世紀中頃）に明石氏が築城。 現在は台地上に城跡公園。

阪 神

名 称	名城	史跡	所在地	築城年代・解説など
有岡城 	100	国	伊丹市伊丹、宮の前	1574年（天正2）から1577年（天正5）の期間に、伊丹氏築城分を荒木村重が改修した。 日本最古の天守をもったといわれ、難攻不落とたわれた惣構えの城跡。荒木村重のときに新たに整備され、有岡城と改名されたが、1579年信長によって焼き払われた。国の史跡に指定されている。
尼崎城 	100		尼崎市北城内、南城内	1618年（元和4）から数年かけて、戸田氏鉄が築城。 現在は、小学校と高校跡地（市埋蔵文化財センター）となって、石垣などが残る。 最近、天守閣を再現建築する動きが活発になっている。
富松城	100		尼崎市富松町	1487年（長享1）より以前に、薬師寺氏が築城した模様。 土塁と堀などが残る。

名 称	名城	史跡	所在地	築城年代・解説など
 <p>西宮砲台</p>	100	国	西宮市西波止町	旧西宮砲台跡。1866年（慶応）に江戸幕府により築台。 海岸の砂地に建造された砲台。高さ12m、直径約17m、砲台周囲53m。外側は漆喰塗り、内側に弾薬庫と井戸。2層目の孔（11砲眼）から大砲で四方を標的とできた。当初、試射された模様。その後1884年（明治17年）の火災で黒ずんでいる。
越水城	100		西宮市桜谷町	1512年（永正9）から1519年（永正16）の間に、瓦林正頼が築城。
鷹尾城	100		芦屋市城山	1511年（永正8）以前に、瓦林正頼が築城。 通称、城山として親しまれている。標高260m、鷹尾山とって中世の戦国時代における阪神間での代表的な古戦場であった。山麓には6～7世紀の古墳が点在し、芦屋のあけぼのの特色を示す。
小浜城	100		宝塚市小浜	毫撰寺内。1492年～1501年の明応年間に、一向衆が築いた。堀、門跡、土塁が残る。
山下城	100		川西市山下字古城山、一庫字向イ山	南北朝時代（14世紀後半）頃に、塩川氏により築城。 天正年間、豊臣秀吉に攻められ落城。曲輪、土塁、堀切が残る。
大原城	100		三田市大原字堀切	1264年（文永1）頃に大原氏により築城。 曲輪、土塁、堀などが残る。 埋蔵金伝説もある。
三田城	100		三田市屋敷町	築城の年代、築城者とも不明。 九鬼藩三田城跡は、現在の三田小学校の位置にあった。有馬高校との間に濠が残り、近くの屋敷町には、安政2年頃の三田藩の旧宅もあり、長屋門も数棟が残り、城下町の静かなたたずまいを今もわずかながら留めている。
本庄丸山城	100		三田市東本庄	森鼻城。田中字城山。1583年（天正11）以前に森鼻氏が築城。 曲輪、堀などが残る。
塚口城		市	尼崎市塚口本町	塚口寺内。室町～鎌倉時代の築城か。東町門跡、濠跡水路が残る。
水堂陣屋		市	尼崎市水堂	1624年～1645年の寛永年間、青山幸通が築城。陣屋門のみ残る。
 <p>今津砲台</p>			西宮市	1866年（元治3）、尼崎藩が築造。直径10数m、2層で四方を狙う。1915年に民間に払い下げられ、採石のため取り壊された。残る石碑はその石材の一部を活用。

東播磨

名 称	名城	史跡	所在地	築城年代・解説など
	100		明石市明石公園	1619年（元和5）に小笠原忠貞が築城。元和年間に小笠原忠政が築いた城。緑に包まれた城跡の先には隅やぐらが2か所そびえている。一帯は県立の明石公園として各種スポーツやレクリエーション施設が整備されている。
	100		明石市船上字古城	1586年（天正14）に高山右近が築城。約20年後の明石城の資材として廃城となった。市街地の田圃の中に僅かに残る。
	100		加古川市志方町志方町	観音寺。室町時代に櫛橋氏が築城した模様。天正年間、神吉城とともに落城。
	100		加古川市加古川町本町	称名寺境内。1184年（元暦1）に糟屋有教が築城。
	100		加古川市東神吉町神吉	常楽寺。室町時代に神吉元頼が築城した模様。天正年間（天正6）に織田軍に攻められ、志方城、野口城とともに落城。
	100		加古川市志方町岡	赤松城。室町時代初期に、赤松氏則が築城した模様。曲輪、土塁、堀などが残る。埋蔵金伝説も残る。
	100		西脇市黒田庄黒田	室町時代に黒田重勝が築城した模様。戦国時代の武将黒田官兵衛ゆかりの城跡、山頂から町の北部の眺めがすばらしい。
	100		姫路市比延町字城山	室町時代に黒田重勝が築城した模様。本郷（江）弥三郎頼兼が城山頂上部に築城。文禄、慶長年間に廃城。
	100		三木市上の丸町	15世紀後半に別所則治が築城。元正8年正月、三木城主別所長治は落城の際家臣の命を救うため、別所一族とともに自害した。その時の辞世の碑が上の丸公園に建っている。（今はただうらみもあらし諸人の命に代わるわが身と思へば）

名 称	名城	史跡	所在地	築城年代・解説など
平井山ノ上付城 	100	国	三木市平井、与呂木、志染町安福田	1578年（天正6）に織田信忠が三木城攻めのために山上に築城。縄張りが窺える。
高木大塚城	100	国	三木市別所町朝日ヶ丘	1579年（天正7）に織田信忠が古墳の上に付城として築城。土塁などが残る。
三津田城	100		三木市志染町三津田	有馬法印重則が築城、年代は不明。三木城攻めのための付城。曲輪、土塁などが残る。
高砂城	100		高砂市高砂町東宮町	高砂神社一帯。1441年（嘉吉1）に杉岡蔵人が築城。石垣石材が転用されている。
小野藩陣屋	100		小野市西本町	1653年（承応2）、一柳直次が建築。陣屋施設、近隣武家屋敷など無くなり、地形や町の地割が残る。
金鐘城	100	市	小野市昭和町	中村氏が築城か、次期も不明。主郭、堀、土塁などが見られる。
小堀城	100		小野市河合中町小字小堀	1441年～1444年（嘉吉年間）より以前に、光枝三郎正頼が築城。長い土塁が残る。
河合城	100		小野市新部町小字構、河合西町城成	築城年代、築城者とも不明。平城で、堀川城の近隣。
山下城	100		加西市山下町城山	築城年代、築城者とも不明。浦上氏の居城か。現在は、ふれあい公園。
小谷城	100		加西市北条町小谷字城山	築城年代、築城者とも不明。上原氏が築城か。現在、ハンキングコース内。
三草山城	100		加東市上三草字三草山	築城年代、築城者とも不明。源平合戦時の話は有名。曲輪、土塁が残り、ハイキングコースに。
野間山城	100		多可郡多可町八千代区中野間	1362年（正平17、貞治1）に在田左衛門督重友が築城。貞治元年丑年、赤松則村の曾孫有田左衛門督重友が始めてここに城を築いて多可加東加西の三郡を領有した。天正3年亥年8月15日三木城主別所長治によって攻められ落城する。
光竜寺山城	100		多可郡多可町八千代区中野間	1362年（正平17、貞治1）に在田左衛門督重友が築城。平時の居城か。曲輪、土塁、竪堀が残る。
阿閉城	100		加古郡播磨町本庄	阿閉神社。室町時代の築城で、築城者は不明。1580年（天正8）の三木落城に併せて廃城。
明石道峯付城		市	三木市福井	1579年（天正7）に織田信忠が築城。
小田城		市	小野市船木町字東山	築城年代不明、築城は依藤豊秋。土塁、空堀が残る。

名称	名城	史跡	所在地	築城年代・解説など
豊地城		市	小野市中谷町字城の土井	東条城？ 築城年代、築城者とも不明。掘割、高土塁が残る。
屋口城		市	小野市中谷町字西山	築城年代、築城者とも不明。豊池城の依藤氏の詰城か？ 曲輪、土塁が残る。
内藤氏屋敷		市	加西市満久町	築城年代、築城者とも不明、内藤氏か？ 庭園、石垣が残る。

西播磨

名称	名城	史跡	所在地	築城年代・解説など
姫路城 	100	国	姫路市本町	当初、1332年（元弘2）、赤松則村が築城。その後、1601年（慶長6）に池田輝政が築城。 日本に残る規模の整った最大の古城で天守閣を中心とする8棟が国宝に、その他74の建物が重要文化財などに指定されている。連立式天守閣の建築類、優雅な白漆総塗ごめの外壁などが国城郭の貴重な資料。
御着城 	100		姫路市御国野町御着	御着城跡公園。1519年（永正16）に小寺政隆が築城。 天正年間に秀吉により落城。堀の一部が残り、現在は公園と市の支所・運動場となっている。
妻鹿城	100		姫路市妻鹿町甲山	功山城、甲山城、国府山城。1331年～1334年の元弘年間に妻鹿孫三郎長宗が築城。
置塩城	100	国	姫路市夢前町宮置	1469年（文明1）に赤松政則が築城。曲輪、石垣などが残る。
恒屋城	100	市	姫路市香寺町恒屋	1441年～1443年の嘉吉年間に恒屋刑部少輔光稿が築城。 天正4年羽柴秀吉の播磨平定によって悲運の涙を呑み黒田氏に臣従するまでの約140年間つづく。今は中世山城の典型的な遺構がそのまま現存している。
英賀城 	100		姫路市飾磨区英賀宮町	1441年（嘉吉1）も三木通近が築城。1580年（天正8）に秀吉に攻められ落城。現在、市街地。

名 称	名城	史跡	所在地	築城年代・解説など
感状山城	100		相生市矢野町瓜生	1336年（建武3）に赤松則祐が築城。建武3年(1336)新田義貞軍の播州攻めの時に赤松則祐がこの城にたてこもって戦功をたて、足利尊氏から感状を与えられたので以来感状山城と呼ぶようになったと伝えられている。
下土居城	100		相生市若狭野町下土井大田林山	1267年（文永4）に岡豊前守光国が築城。曲輪、土塁、堀が残る。
若狭野陣屋	100		相生市若狭野町若狭野	1671年（寛文11）に浅野長恒が築城。札座跡の法界庵と、近隣の寺にいちくされた陣屋門が残る。
赤穂城	100		赤穂市加里屋	1661年（寛文1）に浅野長直が築城。浅野家3代、永井家1代、森家12代の居城跡である。城内には大石良雄宅跡大石神社、塩業資料館、武家屋敷公園等があり、城跡公園にもなっている。
篠ノ丸城	100		宍粟市山崎町横須、門前、上寺	1345年～1351年の貞和年間に赤松則祐が築城。1580年（天正8）に秀吉により落城。曲輪、堀、土塁が残る。
長水城	100		宍粟市山崎町宇野、上牧谷、片山、五十波	1352年～1356年の文和年間に赤松則祐が築城。1580年（天正8）に秀吉に攻められ落城。石垣、曲輪が残る。
波賀城	100		宍粟市波賀町上野	築城時期は不明、芳賀七郎が築城。中村氏が長く居館とした。「シノ半角の石垣」「馬隠しの伝説」で有名。櫓や冠木門などが復元。
龍野城	100		たつの市龍野町上霞城	1499年（明応8）、赤松村秀が築城。寛文12年に信州飯田から脇坂安政公が移った平山城で、昭和50年から5年がかりで復元された城である。本丸御殿、多聞やぐら、埋門、隅やぐら、しころ門等三曲輪の城である。
城山城	100		たつの市新宮町馬立字亀の山	1352年（文和1）に赤松則祐が築城。1441年の嘉吉の乱で落城。石塁、門礎などが残る。
鶴居城	100		神崎郡市川町鶴居	稲荷山城。築城代は不明だが南北朝後半か、永良近江守雅親が築城。曲輪、堀などが残る。

名称	名城	史跡	所在地	築城年代・解説など
春日山城	100		神崎郡福崎町八千種	築城年代は不明（建武年間？）だが、後藤三郎左衛門尉基明が築城。 1578年（天正6）に秀吉にせめられ落城。穴倉遺構、空堀など僅かに残る。
福本藩陣屋 	100		神崎郡神河町福本	大歳神社。1663年（寛文3）、池田政直が築城。 陣屋大名庭園が残る。
楯岩城	100		揖保郡太子町太田	1334年～1338年の建武年間に赤松則祐が築城。 太田城の出城か。天正年間に秀吉に攻められ落城。
白旗城	100	国	赤穂郡上郡町赤松	1336年（建武3）に赤松則村が築城。 南北朝時代の名将赤松円心公の居城として、650年余りの昔築かれた、有事籠城型の大規模な梯郭式の城跡で、新田義貞軍の50日に及ぶ総攻撃にたえたことから、天下の名城として名を馳せ、数多くの遺構が残されている。
上月城	100		佐用郡佐用町上月	1199年～1201年の正治年間に、得平三郎頼景が築城。 天正の昔、織田信長の中国攻略の攻防で数度落城の悲運にあっている。赤松一族の悲惨な最後、山中鹿之介の奮戦と尼子氏の滅亡などつわものどもの夢のあとがしのばれる。現在本丸跡に赤松政範らの墓碑が建っている。 軍資金埋蔵伝説がある。
福原城	100		佐用郡佐用町佐用	1334年～1338年の建武年間に佐用兵庫介範家が築城。 1577年（天正5）に秀吉に攻められ落城。曲輪、土塁が残る。
利神城 	100	町	佐用郡佐用町平福	1349年（貞和5）に別所敦範が築城。 城郭のあったところは雲突城と呼ばれ、城郭の大きさは、県下第2位。利神山頂には、往時をしのぶ広大な石垣が残っており、播州皿屋敷の伝説お菊井戸もある。
駒山城		町	赤穂郡上郡町大持	南北朝時代に赤松則祐が築城。「一城別郭」の縄張り。曲輪、土塁、石垣、井戸、空堀が残る。
三日月城			佐用郡佐用町三日月町乃井野	三日月藩1万5千石の森家陣屋跡付近に藩主森家代々の墓を祀る烈祖神社、三つの山を埋め武術の調練場とした広場、三方里山、石清水八幡宮の播磨別宮として、約900年前に建立された日岡八幡宮などがある。

但馬

名称	名城	史跡	所在地	築城年代・解説など
竹田城 	100	国	朝来市和田山町竹田字古城山	室町時代に、山名持豊（宗全）が太田垣氏に築城させた。 JR竹田駅の西方にある古城山の山頂（標高353m）に築かれた山城。東西100m南北400mにわたって築かれ山城としての美しさとともに縄張りのみごとなさは全国でも屈指の城郭といわれている。
出石城	100	市	豊岡市出石町内町	1604年（慶長9）頃に、小出吉英が築城。 山上の高城を廃してすそのに城を築いた。現在は、東西の隅櫓を昭和43年に復元したものがあり、出石の街を一望できる。梯郭式の平山城。
有子山城	100	国	豊岡市出石町内町	1574年（天正2）に、山名祐豊が築城。 1580年（天正8）に秀吉に攻められ落城。石垣、曲輪が残る。
此隈山城	100	国	豊岡市出石町宮内	室町時代の1372年～1374年の文中年間に、山名持豊（宗全）が太田垣氏に築城させた。山名時義が築城。 1580年（天正8）に織田軍進攻により廃城。曲輪、堀切が残る。
豊岡城	100		豊岡市京町神武山公園	1580年（天正8）に宮部善祥房が築城。 但馬征伐で、豊岡を占領して神武山に亀城を築き、今は、市街地中央の神武山公園として市民憩いの場となっている。曲輪の一部が残る。
楽々前城	100		豊岡市日高町佐田字城山	1394年～1427年の応永年間に垣屋隆国が築城。 曲輪、土塁、堀切などが残る。
鶴城	100	市	豊岡市山本字鶴ガ城、上ノ谷	1429年～1441年の永享年間に伝田結庄が築城と伝わる。 曲輪、堀切などが残る。
三開山城	100	市	豊岡市大篠岡字見開、駄坂字見開、木内字見開山、香住字西谷	南北朝時代初期に築城の様様。築城者は不明。 曲輪、堀切が山頂に残る。
八木城	100	国	養父市八鹿町八木	八木城「石の城」。南北朝時代に築城の様様で、築城者は八木氏。 11世紀の中頃伊四郎頼国が築城したと伝わる。八木次郎重清が城主となり八木氏15代400年の居城であったが羽柴秀吉に攻撃されて落城した。今なお標高400mの山頂に20m余の石垣をめぐらした天守閣跡がある。
朝倉城	100	市	養父市八鹿町朝倉大平山	南北朝時代に築城の様様で、築城者は朝倉氏。 主郭跡、曲輪群、堀切、豎堀が残る。
村岡藩陣屋	100		美方郡香美町村岡区村岡御殿山公園	1806年（文化3）に山名義方が築城。 現在、御殿山公園。
芦屋城	100	町	美方郡新温泉町浜坂城山公園	南北朝末期の築城で、築城者は不明。 1580年（天正8）に秀吉に攻められ落城。現在、城山公園。

名 称	名城	史跡	所在地	築城年代・解説など
温泉城	100	町	美方郡新温泉町湯	南北朝時代の築城、築城者は奈良氏。曲輪、石垣が残る。
八木古城			養父市八鹿町八木	八木城「土の城」。築城年代不明、築城は閉伊氏か？ 曲輪、土塁、堀切、井戸跡が残る。
八木城殿屋敷			養父市八鹿町八木	築造年代、築造者とも不明。室町時代後期に八木氏が居館に？ 堀、石垣が残る。
亀ヶ城		市	豊岡市但東町太田字城山	1221年（承久2）に太田昌明が築城。曲輪、堀切、土塁、畝状堅堀、帯曲輪が残る。
倉見陣屋		市	豊岡市倉見字岩谷	1803年（享和3）、倉見小出氏が築城。曲輪、石垣、堀跡が残る。
金蔵寺城		市	豊岡市但東町虫生字金蔵寺	築城年代、築城者とも不明。山岳寺院であった金蔵寺が城砦化した？ 曲輪、堀切、畝状堅堀群が残る。
中山城			美方郡香美町村岡区福岡	築城年代などはっきりしないが領主兎塚氏が北朝に味方して滅亡後も、天正5年（1577）秀吉勢但馬入りまでの、三世紀余にわたる山城であったと伝えられ、現在、三段に切り割られたハザマや石垣が残されている。
山口城			朝来市朝来町山口	城主は太田垣氏の属将であり、竹田城主支配下の所領防衛のための砦。陣屋であり、城塞でもあった。

丹 波

名 称	名城	史跡	所在地	築城年代・解説など
篠山城 	100	国	篠山市北新町	1609年（慶長14）に徳川家康が池田輝政（普請奉行）と藤堂高虎（縄張り奉行）に命じて築城。城郭の主体部である石垣と濠、馬出しなどがほとんど完全にその遺構をとどめ近世城郭の一典型としての価値は高い。大書院が復元。
八上城	100	国	篠山市八上上字高城山、殿町、西八上、八上下、小多田地内	1508年（永正5）に波多野元清が築城。1579年（天正7）に明智光秀に攻められ落城。曲輪、石垣、堀、土塁などが残る。
細工所城	100		篠山市細工所	荒木城、井串城。1532年～1555年の天文年間の末頃に、荒木山城守氏香が築城。堀切、土塁が残る。
淀山城	100		篠山市辻	1555年～1558年の弘治年間に波々伯部兵衛が築城。八上城の支城。曲輪、堀切、土塁が残る。
土居ノ内	100		篠山市大淵字家中	大淵館。天正年間以前で築館年代、築館者とも不明。畑氏の居館。土塁、堀切が残る。

名 称	名城	史跡	所在地	築城年代・解説など
岩尾城			丹波市山南町和田、小野尻	1516年（永正13）に和田日向守齊頼が築城。 岩尾城はまたの名を和田城ともいい、城下町和田の町並みを見おろす蛇山の山頂にある。中世山城の遺構に近世式築城様式を取り入れた貴重な城跡として高く評価されている。
黒井城			丹波市春日町黒井	1335年（建武2）に赤松筑前守貞範が築城、1554年（天文23）に荻野悪右衛門直正が修復。 猪の口山頂にあり、天正7年明智光秀のために落城の悲運にあった赤井直正の居城のあと。山頂での眺望は、春日町を一望におさめ、山東平野を眼下に望み、晴天には、丹後の大江山を望見することができる。
柏原藩陣屋 			丹波市柏原町柏原	1714年（正徳4）に織田信休が構築。 現在、陣屋の表御門と表御殿が残る。
高見城			丹波市柏原町大新屋	1327年（嘉歴2）に、仁木伊賀守頼章が築城。 1579年（天正7）に明智光秀に攻められ落城。曲輪、堀切などが残る。
久下城			丹波市山南町玉巻	1334年～1338年の建武年間に久下弥三郎時重が築城。 1579年（天正7）に明智光秀に攻められ落城。
金山城			丹波市柏原町上小倉	1578年（天正6）に、明智光秀が築城。 1582年（天正10）に山崎の戦いで秀吉に負け、廃城。一部石垣、郭、土塁、虎口、石積が残る。光秀の埋蔵金伝説あり。
野村城			丹波市春日町野村字木寺	築城年代、築城者とも不明。 土塁、堀が残る。
友政城			丹波市市島町中竹田	1573年～1593年の天正年間初期に、吉松石見守が築城。城主は三谷友政。土塁、堀切が残る。
福泉寺城			篠山市火打岩字宝塔山	築城年代、築城者とも不明。平安時代末期の修験道の小金ヶ嶽の福泉寺に併設？ 土塁、堀切が残る。
三尾城			丹波市春日町中山	戦国の頃、赤井直正の弟刑部幸家がこの山頂あたりにこもって、明智の軍にあたってと伝えられる。当地方では比較的高い山で、しかも奇岩がそびえ露出しているため格好の登山者の練習場やハイキングコースとなっている。

淡路

名称	名城	史跡	所在地	築城年代・解説など
洲本城 	100		洲本市小路谷	三熊山。築城年代は不明だが、安宅氏が築城。 洲本市街の南に接する三熊山は洲本城の石垣が残り昭和3年に建てられた天守閣からは市街や大阪湾、紀淡海峡の展望が素晴らしい。またこの山地北面には多種にわたる貴重な植物が自生している。
高崎砲台	100		洲本市由良町由良	1854年（安政1）に徳島藩が築造に着手。 その後、1898年（明治31）に由良要塞の高崎砲台に石垣の一部を利用。
炬口城	100	市	洲本市炬口	築城年代は不明だが、安宅氏が築城。 曲輪、土塁、堀切が残る。
炬口台場 	100		洲本市炬口	1861年～1863年（文久1～3）に徳島藩福田氏が築造。 現在、石垣と火薬庫跡が残る。
白築城	100	市	洲本市五色町鮎原三野畑白洲	築城年代は不明だが、安宅氏が築城。 天正9年11月（1581）当時、反織田信長側であった安宅九郎左衛門冬吉氏は、羽柴秀吉の淡路征伐により滅亡したと言われ、今も城あとからは焼けた瓦や米が出る。 曲輪、土塁、堀切が残る。
養宜館	100	県	南あわじ市八木養宜中	大土居。1340年（歴応3）に、細川師氏が築城、居館とした。 土塁、濠跡が残る。
志知城	100		南あわじ市志知松本	築城年代は不明だが、野口氏が築城。 鎌倉時代の築城で、朝鮮の役に水軍がここから出陣したという。慶長6年（1601）石川紀伊守は吐堂に砦を築いてこの城を廃したと伝わる。堀、土塁が残る。
松帆台場 	100	国	淡路市岩屋松帆	1861年（文久1）に阿波藩が築造に着手。1863年（文久3）構築。 現在は神戸製鋼保養所「ゆうなぎ荘」内に残る。石積みの土塁高台は砲臺跡、また、三方を石垣で囲った場所が火薬所跡である。御備船用の松帆湊跡（未完成）。台場としては、東西530m、南北250mと広がった。2006年、国の史跡に指定。
栗原城			南あわじ市三原町神代浦壁	島田源兵衛行定が築城。正治元年（1199）にここの城主が上田八幡神社を創立。天文15年（1546）廃亡したという。
上田城			南あわじ市三原町神代社家	細川家の別館。一方が崖となって三原平野を一望できる要塞の地で高さ1.8mの土堤の一部が残っている。以久明神、犬の馬場、五輪塔がある。

※参考資料

『兵庫県観光便覧』（第4版）

『兵庫県の中世城館・荘園遺跡』昭和57年（兵庫県教育委員会）

『ひょうごの100城マップ』平成29.3.31発行（兵庫県歴史文化遺産活用活性化実行委員会）

URL

<http://kdskenkyu.saloon.jp/kdsdata.htm/>

<http://kdskenkyu.saloon.jp/pdf/dt06cas.pdf>

